

中津で尺八の原型「一節截」全国大会

一節截の演奏を聴いたことがあるという市内宮夫、坂田和子さん(85)は「哀愁を感じられるのがいいところ。今日は一人一人違う、さまざまな音を堪能しました」と話した。

(和子礼子)

京都市、名古屋市中区でこれまで開催。今回は良沢の精神を受け継ぎ活動する「中津一節截の会」(川島真人会長、23人)が企画。一節截の振興や愛好家同士の情報交換を目的に開いた。同会メンバー18人は「五木の子守唄」「荒城の月」「黒田節」「里の秋」「アメージング・グレイス」など親しみのある曲を披露した。県外からの出演者は、一節截研究者の相良保之さん(千葉県在住)のほか、大阪や名古屋、長崎など各市の14人。最古の譜本「短笛秘伝譜」を基に復元された曲「地主之桜」「大物」「紫鈴法」などを演奏した。琴との合奏もあり、市民約120人が和の共演を楽しんだ。

愛好家32人が披露



中津一節截の会と箏曲グループのコラボレーション。情緒あふれる和の音色を披露した＝中津市宮夫の川島整形外科病院

良沢も愛した
情緒ある音色

尺八の原型とされる「一節截」の全国大会が10日、中津市宮夫の川島整形外科病院であった。「解体新書」を編さんした中津藩医で蘭学者の前野良沢も愛した和楽器。良沢ゆかりの地に、全国から集った愛好家32人の情緒あふれる音色が響いた。

中津新聞

【中津新聞社】大分合同新聞中津支社
0979-22-0309 FAX 22-7802

宇佐新聞

【宇佐新聞社】大分合同新聞宇佐支局
0978-32-0211 FAX 34-1050

豊後高田新聞

【豊後高田新聞社】大分合同新聞豊後高田支局
0978-24-3310 FAX 23-1012

国東新聞

【国東新聞社】大分合同新聞国東支局
0978-72-0259 FAX 73-2012

姫島新聞

【姫島新聞社】大分合同新聞国東支局
0978-72-0259 FAX 73-2012

とことん地域密着

携帯でピッ!



モ

一節截は真竹の一節で作る小ぶりの縦笛。室町時代から江戸時代初期まで盛んだったが、尺八の台頭により同時代中期ごろには使われなくなったという。武田信玄や織田信長など戦国武将がたしなみ、「一休さん」で知られる一休宗純も愛用。良沢は仕事の合間に奏でるほか、廃れていた一節截の普及に取り組んだ。